

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 7 年 4 月 1 日

アンケート期間:令和 7 年 2 月 10 日～令和 7 年 2 月 28 日

事業所名 希望の丘豊橋

保護者等数(児童数) 15(15) 回収数 15 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15			室内は何部屋かあって良いと思います。室外は、もう少しスペースがあると沢山の人数で遊んでもぶつかる危険が減ると思います。	希望の丘の屋外遊技場では足りないくらいのダイナミックな遊びがしたい場合は、希望の森や希望が丘児童クラブ、農園などに出向き、身体をたくさん動かせるように計画したいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1			目から入る刺激を少なくするために、視覚支援は必要最低限にしています。必要な子に、必要な場面で、必要な量を常に考え、環境を設定しています。また、活動に応じて、今が何の時間かが分かりやすくなるよう机などの配置をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15			とても綺麗にされているので、送迎時はとても良い気持ちになります。安心して子供を預ける事が出来ます。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1		本人の特性を理解し接して頂けるので、とても安心しています。	職員一人ひとりが様々な視点で子どもたちと接し、その時の気付きを共有したり話し合ったりすることで、理解を深めたり適切な支援に繋がったりしています。研修等の機会を通して得た知識や情報も、内容を吟味した上で支援に活用しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	15				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1			個別支援会議を通して職員間で内容を確認・検討し統一した支援に繋がっていますが、定期的に見返すことは意識を高めるためにも必要だと感じます。その為のツールを作成したので、早速導入していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1			活動プログラムは設定されているものの、参加不参加に関しては子どもたちの意思を一番に考えています。『やりたい!』と積極的に参加しなくなるような活動を、今後考え取り入れていきたいと思っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	11	3	1		同法人の希望が丘児童クラブと積極的に交流を図っています。中には誘っても児童クラブへ遊びに行かないと教えてくれる子がいたり、合同で活動をする日に利用ではなかったりすることで、保護者の方には交流を実感していただけない状況もあると思います。保護者の方への発信方法を見直すと共に、児童クラブに行かなくても交流できる工夫を考えていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	6		親も子供と参加する行事はあります。	プログラムや研修会という形での提供は現在できていません。困りごとなどに対する相談や情報提供などは、その都度一緒に考えたり、施設等で行っている支援方法をお伝えしたりしています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	15				親身になって相談にのって頂けているので、心強いです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1				保護者の方からの相談には随時対応させていただいています。モニタリングや個別支援会議、担当者会議を含め半年に1回以上はこちらから声を掛け、じっくりと面談や話し合いをする機会を設けていただいています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	4				父母の会、保護者会、きょうだい向けのイベントは行っていませんが、年に4回程度ご家族参加型のイベントを開催しています。イベントは保護者同士、きょうだい同士が交流するとてもいい機会となっていますので、日程が合いましたら是非ご参加ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2				放デイは全ての方に送迎をお願いしているので、その際にできる限り様子を共有するよう職員一同意識しています。情報伝達に関しては、口頭だけでなくクラウドサービスや掲示板を利用してお伝えしていますが、今後も情報に合わせて分かりやすい伝達方法を都度検討していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	6		防災訓練はしていますが、後はよくわかりません。よくわかりません。	各種マニュアルを策定し、研修や訓練を行っています。今後、保護者の方たちへの定期的な周知も検討していきます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3		よくわかりません。	消防署へ計画を提出した避難訓練2回(内1回は総合訓練)だけでなく、ふれあいセンター合同の避難訓練にも複数回参加をすることができました。利用の曜日や時間帯によっては訓練ができていないお子さんもいますが、職員は災害を想定して訓練や振り返りを行っています。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1				安全計画の策定をし、月に1回施設・遊具安全点検を実施しています。今後も安全な環境で支援を行えるよう、事業所内の注意すべき箇所は職員間で共有すると共に、定期的に振り返りを行っています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1				開所してから現在に至るまで、大きな事故等は発生していません。些細なことでも表情や様子を見て保護者の方に連絡させていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15				とても楽しみに行っています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				祝日の利用が出来るとうれしいと思う。いろいろ親身になって頂き、感謝でいっぱいです。	